

## 令和3年度主要施策の成果について

# 教 育 費

## 教育総務課

### 1 学校図書館図書整備事業

(10 款 2 項 2 目 小学校教育振興事業費、10 款 3 項 2 目 中学校教育振興事業費、  
10 款 4 項 2 目 義務教育学校教育振興事業費)

学習指導要領が示す「言語に関する能力の育成」を目指し、子どもたちの読書への意欲向上のため、継続して学校図書館の図書の整備を行った。

○図書整備費 小学校 1,892,000 円、中学校 1,781,000 円、義務教育学校 2,327,000 円

	令和 2 年度			令和 3 年度				
	年度末 蔵書冊数	図書基準 冊数	蔵書基準 達成率	年度中 整備冊数 (寄贈等 含)	年度中 廃棄冊数	年度末 蔵書冊数	図書基準 冊数	蔵書基準 達成率
小学校	74,091	52,360	141.50%	2,729	2,086	74,734	47,240	158.20%
中学校	42,499	46,000	92.39%	2,534	865	44,168	45,600	96.86%
合計	116,590	98,360	118.53%	5,263	2,951	118,902	92,840	128.07%

※義務教育学校分の図書基準冊数については、義務教育学校の前期課程を小学校の基準で、後期課程を中学校の基準で計上している。

○学校図書館ネットワークシステム使用料 475,200 円

小学校 193,600 円 中学校 158,400 円 義務教育学校 123,200 円

○学校図書館システム用パソコン借上料 299,640 円

小学校 163,440 円 中学校 108,960 円 義務教育学校 27,240 円

<成果> 蔵書冊数の増加により学校図書が充実した。また、学校図書館蔵書管理ネットワークシステムを活用し、図書の有効活用を図ることができた。

### 2 学校教材整備事業

(10 款 2 項 2 目 小学校教育振興事業費、10 款 3 項 2 目 中学校教育振興事業費、  
10 款 4 項 2 目 義務教育学校教育振興事業費)

#### (1) 学校教材備品整備事業

学習指導要領に基づき、計画的に教材用備品の整備を行った。

○整備金額 小学校 1,787,955 円 中学校 1,422,434 円 義務教育学校 2,038,938 円

<成果> 時代のニーズに合った教材用備品の整備により、学習環境の充実を図ることができた。

## (2) 学校理科教材整備事業

学習指導要領に基づき、毎年度、理科教育用備品を計画的に整備している。令和3年度は、小学校1校、中学校1校、義務教育学校（前期課程）1校で理科教育用備品を整備した。

○整備金額 1,025,090円（内、国庫補助金487,000円）

<成果> 理科教育に必要な備品を計画的に整備したことにより、学習環境の充実を図ることができた。

## 3 情報教育推進事業

- (10款2項2目 小学校コンピューター教育振興事業費、
- 10款3項2目 中学校コンピューター教育振興事業費、
- 10款4項2目 義務教育学校コンピューター教育振興事業費)

<主な事業費>

情報教育環境等の維持管理

○学校教育用ICT関連機器メンテナンス業務委託料 3,993,000円

○校務用ノートパソコン等機器一式賃借料（9月からの新たなリース契約）

（校務用PC、プリンター、サーバー、関連ソフトウェア等のリース契約）

小学校 6,020,553円 中学校 4,489,716円 義務教育学校 5,221,986円

○8月まで 教育用コンピュータ（コンピュータ教室へのパソコン配備に係る経費）

・コンピュータ賃借料

小学校 390,980円 中学校 293,235円 義務教育学校 390,980円

・ソフトウェアライセンス賃借料

小学校 354,745円 中学校 293,535円 義務教育学校 421,470円

○8月まで 校務用コンピュータ（教職員用パソコン設置に関する経費）

・コンピュータ賃借料

小学校 176,120円 中学校 132,090円 義務教育学校 176,120円

・ソフトウェアライセンス賃借料

小学校 181,545円 中学校 143,100円 義務教育学校 217,855円

○PC、ICT機器等修繕料

小学校 349,800円 中学校 245,619円 義務教育学校 120,098円

GIGAスクール構想推進関係

○GIGAスクールサポーター配置業務委託料 2,640,000円（2名配置）

○学校タブレット端末用フィルタリングソフト設定業務委託料

小学校 1,986,666円 中学校 1,133,484円 義務教育学校 2,146,254円

○教職員パソコン用ソフトウェアライセンス賃借料

小学校 665,500円 中学校 484,000円 義務教育学校 756,250円

機器整備関係

○大型モニターセット購入（11台整備）

小学校 1,812,000円 中学校 1,359,000円 義務教育学校 1,812,000円

<成果> G I G Aスクール構想に基づき令和3年3月に整備が完了した校内通信ネットワーク及び児童生徒1人1台のタブレット端末を活用し、I C T教育を推進した。G I G Aスクールサポーターが定期的に学校を訪問し教職員への支援を行うとともに、各学校に導入されている校務用P C、I C T機器等の定期的な点検とメンテナンスを実施し、通信障害などのトラブルに迅速に対応した。また、校務用P C等のI C T機器について、リース契約を更新し、6年ぶりに機器の入替えを行った。さらに、令和3年3月に贈呈を受けた寄附金を財源に、全市立学校に大型モニターを配備し、情報教育環境の更なる整備に努めた。

#### 4 学校施設整備・管理事業

(10款2項1目 小学校管理運営事業費、10款3項1目 中学校管理運営事業費、  
10款4項1目 義務教育学校管理運営事業費)

各学校施設については、老朽化による突発的な修繕が年々増加する傾向にあり、児童生徒の安心・安全を守るため、施設の計画修繕及び緊急修繕を行い施設の維持管理を行った。

(修 繕)

	修 繕 名	請 負 額
小学校	新庄小学校渡り廊下屋根修繕	1,045,000円
	新庄小学校西側教室棟1階男女トイレ改修修繕	2,992,000円
	日新小学校遊具修繕	902,000円
	升形小学校地下タンクFRPライニング修繕	3,245,000円
	本合海小学校給食室屋根塗装修繕	1,210,000円
	その他修繕76件	11,437,239円
	学校配当分	28,600円
	計	20,859,839円
中学校	新庄中学校受水槽交換修繕	7,370,000円
	新庄中学校図書室FF暖房機交換修繕	407,000円
	日新中学校FF暖房機移設修繕	575,300円
	日新中学校職員室用室外機防雪屋根及び防雪フード修繕	440,000円
	八向中学校体育館オペレーター修繕	1,342,000円
	その他修繕30件	4,240,907円
	学校配当分	9,680円
	計	14,384,887円
義務教育 学校	旧北辰小学校体育館電源配線修繕	1,540,000円
	旧北辰小学校体育館給水管布設替修繕	1,268,300円
	旧北辰小体育館事務室間仕切り修繕	658,900円
	萩野学園蓄熱式暖房機修繕	331,100円
	明倫学園通路舗装修繕	561,000円
	その他修繕22件	4,184,923円
	計	8,544,223円

(備 品)

	備 品 名	購 入 額
小学校	新庄・本合海小学校教室児童用机 211 台・椅子 211 脚	2,922,370 円
	日新小学校インパクトドライバー	39,160 円
	升形小学校共立背負動噴	34,320 円
	その他備品 4 件	71,060 円
	計	3,066,910 円
中学校	日新中学校サイクロンクリーナー	34,980 円
	八向中学校エンジンブロワー	26,400 円
	計	61,380 円
義務教育 学校	萩野学園児童用机 20 台・椅子 20 脚	284,900 円
	萩野学園生徒用机 30 台・椅子 30 脚	442,200 円
	萩野学園衣類乾燥機	73,590 円
	その他備品 4 件	101,860 円
	計	902,550 円

<成果> 学校施設の保守点検及び法定点検を行うとともに、計画的に修繕を実施した。また、設備の不具合等について早期に対応し、安全・安心な教育環境の維持・管理に努めた。

## 5 義務教育学校建設事業 (10 款 4 項 4 目 明倫学園建設事業費)

施設一体型義務教育学校「明倫学園」について、地域に根ざした学校として整備を進めた。

<主な事業費>

校舎棟整備

委 託 名 ・ 工 事 名	請 負 額
(繰越明許) 明倫学園校舎棟建設工事の内 建築工事	契約金額 2,574,883,300 円 内 3 年度支出額 1,004,322,440 円
(繰越明許) 明倫学園校舎棟建設工事の内 機械設備工事	契約金額 515,010,100 円 内 3 年度支出額 301,806,560 円
(繰越明許) 明倫学園校舎棟建設工事の内 電気設備工事	契約金額 272,471,100 円 内 3 年度支出額 165,073,480 円
(繰越明許) 明倫学園校舎棟建設工事監理業務委託	契約金額 53,900,000 円 内 3 年度支出額 36,744,400 円
明倫学園校舎棟カーテン設置工事	5,610,000 円
	3 年度支出額 1,513,556,880 円

体育館棟整備

委 託 名 ・ 工 事 名	請 負 額
明倫学園体育館棟建設工事の内 建築工事	契約金額 1,297,600,700 円 内 3 年度支出額 780,600,700 円
明倫学園体育館棟建設工事の内 機械設備工事	契約金額 78,932,700 円 内 3 年度支出額 42,852,700 円
明倫学園体育館棟建設工事の内 電気設備工事	契約金額 63,537,100 円 内 3 年度支出額 38,809,100 円
明倫学園体育館棟建設工事監理業務委託	契約金額 15,950,000 円 内 3 年度支出額 15,950,000 円
	3 年度支出額 878,212,500 円

## 旧校舎解体工事

委託名・工事名	請負額
沼田小学校解体工事实施設計業務委託	7,328,200 円
旧沼田小学校解体工事に伴う地盤変動影響調査業務委託	8,702,100 円
旧沼田小学校解体工事	238,118,100 円
旧明倫中学校解体工事に伴う地盤変動影響調査業務委託	3,573,900 円
旧明倫中学校解体工事	契約金額 297,000,000 円 内 3 年度支出額 118,800,000 円
	3 年度支出額 376,522,300 円

<成果> 5月に校舎棟、令和4年2月に体育館棟が完成した。また、令和5年8月の建設事業完了を目指し、旧沼田小学校の解体工事を実施し、旧明倫中学校の解体工事に着手した。これらの建設事業により、施設一体型小中一貫教育の環境づくりが推進された。

## 6 義務教育学校開校準備事業（10款4項4目 明倫学園開校準備事業費）

新たな義務教育学校である明倫学園の開校に向け、児童生徒の学習環境の整備を行った。

<主な事業費>

委託料 計 12,751,420 円

- 備品等引越業務委託料 5,365,800 円
- パソコン等移設設定業務委託料 3,696,000 円
- 産業廃棄物収集運搬処分料 1,821,050 円
- 絵画等美術品展示業務委託料 495,000 円
- 校歌額等移設取付業務委託料 489,500 円
- 体育館警備機器設置業務委託料 452,210 円
- その他の業務委託料 431,860 円

備品購入費 計 21,428,143 円

- 給食関連備品 7,040,000 円
- 折たたみテーブル 4,225,320 円
- 収納用キャビネット 2,267,210 円
- パイプイス 2,145,000 円
- バレーボール・バドミントン支柱・ネット 1,426,920 円
- 紅白幕 423,500 円
- その他の備品 3,900,193 円

<成果> 学習環境の整備により新校舎・新体育館の使用を開始することができた。

## 7 安全安心通学プラン推進事業

### (1) 通学路安全対策

通学路の危険箇所について、関係機関と共同の安全点検などを行った。

- 通学路の緊急合同総点検実施箇所・・・3箇所
- 安全対策の実施済箇所・・・学校が実施3箇所

<成果> 通学路の点検や危険箇所の把握に努め、緊急に対応が必要な箇所について改善を図ることにより、防犯・交通安全対策を強化することができた。

(2) 通学手段確保対策（10 款 1 項 2 目 通学手段確保対策事業費）

路線バスを利用する児童・生徒の保護者に対して、交通費の全額補助を実施した。

○夏季補助申請人数 16 人分

○冬季補助申請人数 62 人分

○通学手段確保対策事業費補助金 1,055,944 円

<成果> 路線バスを利用する児童・生徒の保護者負担を軽減するとともに、スクールバスの安全運行に努め、安全・安心な通学環境を維持することができた。

## 8 奨学支援事業（10 款 1 項 2 目 教育委員会事務局運営事業費）

将来の担い手となる若者の回帰定着等を促進し、不足する人材を確保するため、次の事業を行った。

(1) ふるさと創生人材確保事業

人材が不足する理工系、保育系及び看護系の学生へ支援を行うため、最上育英会に負担金を支出して月額 4 万円の奨学金を貸与する。学校卒業後 6 カ月以内に市内の事業所等へ就職した場合は、奨学金の返還が半額免除となる。

○最上育英会への負担金 15 名分 7,200,000 円

<成果> 市への定着を促すことにより、地域を支える人材の育成と確保につなげることができた。

(2) やまがた就職促進奨学金返還支援事業

山形県と連携して若者の回帰・定着を促進し地域のリーダー的人材を確保するため、県基金（県・市町村共同で積立）を活用し、奨学金の貸与を受けている学生を対象として、奨学金返還に係る支援を行う。

○令和 3 年度新規支援対象者 4 名分 1,560,000 円（基金より充当（市負担なし））

（出捐金累計額 36 名分 13,998,000 円）

<成果> 本市の将来を担う若者を支援することにより、本市への回帰、地元への定着に向けた一助となった。

(3) 新庄市看護師等育成修学資金貸与事業

最上地域における看護師等の確保を目的として、郡内 8 市町村と最上広域市町村圏事務組合が協定して平成 29 年度から運営している看護師育成最上地域修学資金制度に対応して、市出身の看護学生等の修学に必要な資金の貸し付けを行う。就業後 10 年以内に 5 年間、最上地域の医療機関等に勤務することで返還免除となる。

○令和 3 年度採用修学生 0 名（月額 5 万円貸与）

○令和 3 年度貸付金 1 名分 300,000 円（中途退学により貸付終了）

<成果> 将来市内での就業を希望する看護学生の修学を支援することで、看護師等の育成と確保が期待される。令和 3 年度より、ふるさと創生人材確保事業へ移管した。

# 学校教育課

## 1 令和3年度児童生徒の在籍状況（令和3年5月1日現在）

各学校の児童生徒数を把握し、関係諸法に基づき、適正な学級編制並びに教職員配置を行った。

区分	学校数	学級数	児童生徒数	教職員数	備考
小学校	4校	47学級	935名	89名	教員・養教・事務・栄養・市職他
中学校	3校	27学級	532名	64名	教員・養教・事務・市職他
義務教育学校	2校	50学級	1,039名	103名	教員・養教・事務・栄養・市職他
合計	9校	124学級	2,506名	256名	※学校基本調査

<成果> 正確な状況把握により、各学校における教育の機会均等及び義務教育水準の維持向上につながった。

## 2 学校経営指導事業

教育基本法の趣旨にのっとり、各学校における組織編成、教育課程、学習指導、生徒指導及び進路指導などについて、経営上の課題を把握しながら諸会議や学校訪問を通して指導を行った。

・訪問回数 50回（教育委員会訪問 5回・教育長訪問 27回・指導主事訪問 18回）

<成果> 各学校を訪問し、学校経営の改善、授業改善への指導・助言を行ったことで、学校の活性化及び教育水準の維持向上、地域の実情に応じた教育の振興につながった。

## 3 児童生徒及び教職員の健康管理（疾病の早期発見と予防）

（10款2項3目 小学校保健対策事業費、10款3項3目 中学校保健対策事業費、10款4項3目 義務教育学校保健対策事業費）

学校保健安全法、結核予防法、労働安全衛生法等に基づき、各学校における保健管理及び安全管理として、児童生徒健康診断及び教職員健康診断、ストレスチェックを実施した。

・児童生徒健康診断実施期間：6月～12月

（1）内科検診 （2）眼科検診 （3）歯科検診 （4）耳鼻科検診  
（5）結核検診 （6）心電図検査 （7）尿検査

・教職員健康診断、ストレスチェック実施日：7月20日、7月26日、8月5日、8月19日

<成果> 感染症対策を講じながら、児童生徒並びに教職員の健康の保持増進と学校保健を推進したことで、学校教育が円滑に行われた。また、教職員ストレスチェックを行い、各自が自己のストレスを認知することで、精神面における健康管理を行うことができた。

## 4 就学時健康診断の実施

（10款2項3目 小学校保健対策事業費、10款3項3目 中学校保健対策事業費、10款4項3目 義務教育学校保健対策事業費）

学校保健安全法の趣旨に基づき、来年度の就学児を対象に下記の健康診断等を実施した。

（1）内科検診 （2）眼科検診 （3）歯科検診 （4）視力検査 （5）聴力検査  
（6）ことばの検査 （7）知能検査 （8）教育相談

・会場 4箇所（新庄小9/7、明倫学園9/9、日新小9/14、萩野学園9/16）

<成果> 就学児の健康状態等を把握することで、新年度における指導が円滑に行われた。

## 5 補助金等の交付状況

### (1) 各種大会出場奨励事業

(10 款 2 項 2 目 小学校教育振興事業費、10 款 3 項 2 目 中学校教育振興事業費)  
10 款 4 項 2 目 義務教育学校教育振興事業費)

児童生徒が個人又は団体として予選大会を勝ち進み、東北大会以上の大会に出場する場合には、各学校からの申請をもとに出場奨励費及び出場助成金を支給した。

・交付額 小学校 【東北大会】 5 人 115,916 円 【全国大会】 3 人 124,176 円  
中学校 【東北大会】 8 人 63,115 円 【全国大会】 10 人 578,473 円  
義務教育学校【東北大会】 8 人 163,728 円 【全国大会】 5 人 162,798 円

<成果> 出場奨励費を支給することで、学校教育におけるスポーツ活動及び芸術文化活動の振興につなげ、大会に参加する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減することができた。

### (2) 就学援助費並びに特別支援教育就学奨励費交付事業

(10 款 2 項 2 目 小学校教育振興事業費、10 款 3 項 2 目 中学校教育振興事業費、  
10 款 4 項 2 目 義務教育学校教育振興事業費)

生活保護世帯、生活保護に準ずる世帯、特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者、及び被災児童生徒の保護者に対し、教育に要する経費の一部を補助した。

・交付先 要保護及び準要保護児童生徒の保護者と特別支援学級在籍児童生徒の保護者  
東日本大震災被災児童生徒の保護者  
・交付額 23,824,005 円

	就学援助費目(支給人数)	実支給額	国庫・県補助金
入学前	小学校入学前準要保護児童援助費(9人)	455,400円	
	中学校入学前準要保護児童援助費(9人)	516,600円	
	義務教育学校入学前準要保護児童援助費(12人)	654,800円	
小学校	要保護及び準要保護児童援助費(103人)	7,881,258円	
	特別支援教育就学奨励費(27人)	876,249円	特別支援教育就学奨励費 438,000円
中学校	要保護及び準要保護生徒援助費(52人)	5,056,536円	要保護児童生徒援助費補助金 15,000円
	被災者分就学援助費(1人)	104,749円	被災生徒就学支援等事業交付金 103,509円
	特別支援教育就学奨励費(13人)	641,945円	特別支援教育就学奨励費 321,000円
義務教育学校	要保護及び準要保護生徒援助費(87人)	6,866,360円	
	特別支援教育就学奨励費(19人)	770,108円	特別支援教育就学奨励費 385,000円

※国庫・県補助金は実支給に対する財源となる。

<成果> 生活保護世帯等の経済的に困窮する保護者に、教育に要する経費の一部を補助することで、保護者の経済的負担の軽減と児童生徒の精神的負担の緩和を図ることができ、より良い就学環境が整えられた。また「入学準備学用品費」を費目追加し、小中義務教育学校入学前に支給することで、入学準備にかかる経済的負担をより軽減した。

(3) 修学旅行キャンセル料補助金交付事業（10 款 1 項 6 目 新型コロナウイルス対策事業費）

新型コロナウイルス感染症の影響で、旅行日前日に修学旅行を中止したことにより発生したキャンセル料の半額について補助金を交付した。

・ 交付額            小学校            1 校            416,532 円

<成果> 補助金を交付することで保護者の経済的負担が軽減され、変更した行程で修学旅行を実施することができた。

(4) 学校給食補助金交付事業

（10 款 2 項 3 目 小学校給食管理運営事業費、10 款 3 項 3 目 中学校給食管理運営事業費、10 款 4 項 3 目 義務教育学校給食管理運営事業費）

学校給食運営委員会に対し、学校給食費の補助金を交付した。

・ 交付額            小学校            4 校            2,774,610 円  
                         中学校            3 校            1,995,660 円  
                         義務教育学校 2 校            3,254,690 円

<成果> 補助金を交付することで、保護者の経済的負担の軽減を図り、子育て支援を推進することができた。

(5) 学校給食の運営にかかる負担金支出事業

（10 款 2 項 3 目 小学校給食管理運営事業費、10 款 3 項 3 目 中学校給食管理運営事業費、10 款 4 項 3 目 義務教育学校給食管理運営事業費）

学校給食運営委員会に対し、学校給食費のうち保存食等の学校給食の運営に係る経費を負担した。

・ 支出額            小学校            4 校            249,400 円  
                         中学校            3 校            206,680 円  
                         義務教育学校 2 校            252,180 円

<成果> 学校給食衛生管理基準に基づく保存食や微生物検査等にかかる経費等を負担することで学校給食事業の円滑な運営に寄与した。

## 6 小中義務教育学校給食管理運営事業

（10 款 2 項 3 目 小学校給食管理運営事業費、10 款 3 項 3 目 中学校給食管理運営事業費、10 款 4 項 3 目 義務教育学校給食管理運営事業費）

安全・安心で良質な栄養バランスのとれた学校給食の安定供給に努めた。

(1) 栄養教諭を核とした食育の推進

献立検討会を通して食育の推進に向けた情報提供等を行った。

・ 推進体制        栄養教諭 3 名    学校栄養士 2 名    調理師等 37 名（直営 6 名、委託 31 名）

(2) 地産地消による学校給食の充実

市農林課と連携し、地場産作物を積極的に取り入れた学校給食の提供を行った。

- ・給食で提供した主な地場産作物

大根 2,773 k g、白菜 1,577 k g、ねぎ 2,068 k g、里芋 539 k g、わらび 204 k g、  
ほうれん草 804 k g、みず 124 k g、しめじ 667 k g、なめこ 294 k g、りんご 503 k g 等

### (3) 学校給食調理師研修会の開催

学校給食従事者の衛生管理に対する意識を高め、食中毒等の事故発生を未然に防止するため研修会を開催した。

- ・研修日 7月29日(木)
- ・内容 最上保健所職員による講話：参加者24名

### (4) 衛生管理の実施

- ・検便(赤痢菌・サルモネラ・大腸菌) 月2回実施
- ・ノロウイルス検便 月1回実施(10月～3月)

<成果> 栄養摂取状況を確認しながら栄養バランスのとれた献立を作成しつつ、地場産農産物を給食に取り入れ、食育を推進することができた。また、学校給食従事者に対する研修の実施により衛生管理に対する意識を高めることができた。

## 7 小中一貫教育推進事業(10款1項5目 小中一貫教育推進費)

### (1) 小中一貫教育推進事業

- ・9年間でめざす子どもの姿と指導の共有
- ・萩野学園運営協議会・明倫学園運営協議会・各中学校区小中一貫教育推進協議会の開催

<成果> 義務教育学校における成果検証と発信、小中一貫教育推進協議会における意見交流等を通して、地域に根ざした特色ある小中一貫教育を進めることができた。

## 8 教育の日推進事業(10款1項3目 学校教育指導事業費)

新庄市教育の日及びコスモス教育週間を設定し、全市民を挙げて教育を見つめる気運を高めるとともに、より良い教育環境づくりの推進に取り組んだ。

- ・コスモス教育週間(文化の日11/3前後2週間)の周知  
令和3年10月20日(水)～11月17日(水)
- ・各教育機関の活動写真の展示や活動を紹介する掲示等  
令和3年10月20日(水)～11月8日(月) ゆめりあ 花と緑の交流広場  
令和3年11月13日(土)～11月17日(水) 新庄市民プラザ 市民ホール  
委託料 230,000円

- ・コスモス教育週間の推進(期間中における文化的な学校行事の集中的な実施)

<成果> 保育所や幼稚園、各学校の活動写真を一定期間展示することで、それぞれの教育機関の活動の様子や子どもたちの活躍する姿を広く発信できた。また、コスモス教育週間をPRするチラシやポケットティッシュを広く配布したことにより、教育に対する関心を高めることができた。

## 9 学校のつばさ支援事業 (10 款 1 項 3 目 学校教育指導事業費)

各学校が地域と連携しながら、児童生徒の実態や地域の特性に応じた特色ある学校づくりを計画的かつ柔軟に推進するとともに、自主的で創造的な取組みを実践した。

- ・推進体制 中学校区ごとに「特色ある学校づくり推進委員会」を設立し、事業を展開した。

新庄中学校区	新庄中、新庄小	委託料	693,000 円
日新中学校区	日新中、日新小	〃	934,000 円
八向中学校区	八向中、本合海小、升形小	〃	529,000 円
明倫学園		〃	874,000 円
萩野学園		〃	740,000 円

<成果> 保護者や地域住民等からの協力により多様な教育活動を実施することができ、児童生徒の地域への新たな学びに繋がった。事業を通し各学校において地域に根ざした特色ある教育活動の具現化を進めることができた。

## 10 特別支援教育及び就学指導推進事業 (10 款 1 項 3 目 学校教育指導事業費)

障がいをもつ幼児・児童生徒が能力・適性にあった望ましい教育が受けられるように、障がいの程度に応じた適切な判断と就学指導及び支援を行った。

- ・推進体制 教育支援委員会 20 名 (医師、小中義務教育学校の教職員、福祉関係者等)  
年 2 回実施 (7 月、10 月)  
在学児童生徒及び就学時の適正就学に向けた相談・判断

<成果> 巡回相談を行い、障がいをもつ幼児・児童生徒の教育的なニーズを把握し、生活や学習の困難を改善又は克服するための指導や支援を行ったことで適正就学に結びつけることができた。

## 11 不登校適応教室等指導事業 (10 款 1 項 3 目 不登校適応教室指導事業費)

不登校傾向及び不登校である児童生徒に対し、適応指導教室における週 3 回(月・水・金)の学習支援や月 2 回程度の体験活動(ものづくり、栽培・販売、キャリア学習等)、また、学校へ訪問しての学習支援や相談活動、関係機関との連絡会への参加や電話相談など、個々に応じた必要な支援を行った。

- ・推進体制 教育相談員 3 名 教科指導員 3 名

<成果> 不登校傾向の児童生徒はもちろんのこと、その保護者を含めた相談活動を積極的に行い、学校と連携しながら、学校生活の適応につながるような支援を行うことができた。

## 12 山大エリアキャンパスもがみ運営事業 (教育実習生受入れ関連)

(10 款 1 項 3 目 学校教育指導事業費)

学校における教育活動や地域の活性化を目的に、山形大学との連携のもと、教育実習の大学生の受け入れを行った。

- ・教育実習生の受入人数 11 人
- ・教育実習生の受入先 新庄小、日新小、本合海小、升形小、新庄中、日新中、八向中、明倫学園、萩野学園

<成果> 教育実習生を受け入れることで、受け入れ校は授業づくりや指導方法、学校と地域とのつながり等を見つめ直す機会となり、教育の活性化につなげることができた。また、学生においては、本市ならではの小中一貫教育や地域と密着した教育活動などを学ぶことができた。

### 13 学校・家庭・地域連携協働推進事業（10款1項3目 学校教育指導事業費）

各学校における学校図書館の整備及び機能の充実と、学校における働き方改革の取組を推進するため、学校・家庭・地域連携協働推進事業費補助金を活用し、協働活動支援員を配置した。また、事業の更なる充実を図るため、市内の小学校2校に市単独予算において学校司書を配置した。

・推進体制 小中義務教育学校

学校司書 2名（新庄小学校、日新小学校）

協働活動支援員 7名（上記2校を除く学校、各1名）

<成果> 学校図書館に常時職員がいることにより、図書館の機能強化や読書好きな児童生徒を増やすことができ、学力の向上と学校教育全般の充実を図ることができた。また、学校司書を中心とした情報の共有化や連携の強化により、各校において安定した図書館運営を維持することができた。

### 14 国際理解教育推進事業（10款1項3目 国際理解教育推進事業費）

学校において英語により親しみ、異文化交流やコミュニケーション能力の育成を日常的にできることを目的に4名のALTを配置した。また、授業で学んだ英語を活用し、国際理解の促進を図るためにイングリッシュキャンプを開催した。

・ALTの学校派遣日数累計 527日

<成果> 児童生徒が外国語に触れ、外国の生活や文化に慣れ親しむ活動が充実し、小学校外国語の教科化にスムーズに移行することができた。

### 15 教育研究所事業

教員の資質向上及び教育実践の活性化を目指し、教育の充実に関する調査・研究、教員研修等の各実践研究を進めた。

・学校経営研修講座、学校運営研修講座、教務主任研修講座の実施

・学力向上研究委員会、生徒指導委員会、特別支援教育委員会、英語教育委員会、ICT委員会、社会科指導資料作成委員会、所報編集委員会の開催

<成果> 新型コロナウイルス感染症対策のため紙面開催とした研修等もあったが、新学習指導要領への対応等、喫緊の教育課題に対する研修を、外部講師を招聘しながら年間を通して計画的に開催したことで、教員の資質向上及び教育実践の充実と教育課題を解決することに役立った。

### 16 標準学力検査実施事業

（10款2項2目 小学校教育振興事業費、10款3項2目 中学校教育振興事業費、

10款4項3目 義務教育学校教育振興事業費）

義務教育期間の各段階において、学習内容の定着を確認するために、標準学力検査（NRT）と知能検査を実施した。

- ・学力検査 小学校 2・3年生 2教科(国語・算数)  
4・5年生 4教科(国語・算数・社会・理科)  
6年生 5教科(国語・算数・社会・理科・英語)
- 中学校 1～3年生 5教科(国語・数学・社会・理科・英語)
- ・知能検査 小学校 2・4・6年生  
中学校 2年生

<成果> 客観的な尺度を用いた学力の定着を確認し、課題の分析をすることで授業の改善につなげることができた。

## 17 児童生徒の個別支援事業 (10款1項3目 児童生徒個別支援事業費)

学校生活や学習を行う上で特別な支援が必要な児童生徒や、その児童等が在籍する学級への教育的支援を行うため、必要とする各学校に個別学習指導員を配置した。併せて3名の特別支援教育支援員を配置し、特別支援学級における支援を強化した。

### ・推進体制

個別学習指導員 21名

新庄小：4人 日新小：6人 新庄中：1人 明倫学園：6人 萩野学園：4人

特別支援教育支援員 3名

新庄小：2人 日新中：1人

<成果> 学校教育活動に参画し必要な支援を行うとともに、教員との協力的指導を行うことで、当該児童生徒を含む個々の学習と学級全体の活動を充実させることができた。

## 18 部活動指導員配置促進事業 (10款1項3目 学校教指導指導事業費)

教職員の多忙化の要因の一つとなっている中学校の部活動指導員において担当教職員の負担を軽減させるため、市内中学校2校・義務教育学校2校に部活動指導員を配置した。

### ・推進体制

部活動指導員 5名

新庄中：2人 日新中：1人 明倫学園：1人 萩野学園：1人

<成果> 部活動指導員の配置により、部活動を担当している教員が保護者面談や進路指導など部活動以外の時間を確保することができた。

## 19 新聞を活用した教育活動への支援事業 (10款1項3目 学校教育指導事業費)

新聞を読む機会を増やし授業に役立てることで、情報・読解力を向上させ、地域の記事に触れることを通して郷土愛の醸成を図るため、市内中・義務教育学校(後期課程)に新聞を配布した。

・対象 市内中義務教育学校(後期課程)の全学年 36学級

・実施期間 令和3年5月1日～令和4年2月28日(夏休みを除く8か月間)

<成果> 新聞に親しむ生徒が増えてきており、個々の興味関心に合わせた学びを広げている様子が見えた。地域や県内の話題の記事を読むことで、地域への愛着の気持ちが培われてきている。

## 20 感染症対策等の学校教育活動継続支援事業

- (10 款 2 項 4 目 小学校新型コロナウイルス対策事業費、
- 10 款 3 項 4 目 中学校新型コロナウイルス対策事業費、
- 10 款 4 項 5 目 義務教育学校新型コロナウイルス対策事業費)

各学校が感染症対策等を徹底しながら、児童生徒の学習保障をするための取組を実施するに当たり、校長の判断で迅速かつ柔軟に対応することができるよう、学校教育活動の円滑な運営を支援する経費を補助した。

- ・市立小中義務教育学校 9 校の事業に要した経費 760,695 円
- ・国庫補助金 378,000 円

<成果> 感染症対策のために必要な物品を迅速に購入することで、各校における感染症防止の取組を進めることができた。

# 社会教育課

## 1 社会教育委員会議の開催（10 款 5 項 1 目 社会教育総務事業費）

6 月 17 日（木）、3 月（書面会議） 2 回開催

<成果> 市が実施する社会教育事業について、有識者である委員から意見を頂くとともに、市の社会教育の方向性などについて助言を頂き、次年度事業につなげることができた。

## 2 新庄市成人式の開催（10 款 5 項 1 目 成人式開催事業費）

新型コロナウイルス感染症の影響により延期となった令和 2 年度の成人式と令和 3 年度の成人式の開催を 8 月に予定していたが、新型コロナウイルス感染症が拡大したため中止した。

令和 2 年度対象者については、同級生で集まれる機会を提供するため、成人式とは違う形式の式典を、令和 3 年度対象については成人式を令和 4 年 8 月に実施することとした。

対象者 令和 2 年度対象者 456 人（平成 11 年 4 月 2 日～平成 12 年 4 月 1 日生まれ）

令和 3 年度対象者 452 人（平成 12 年 4 月 2 日～平成 13 年 4 月 1 日生まれ）

<成果> 例年、新成人に自覚を促すとともに、ふるさとへの意識を再確認する機会を提供することを目的に成人式を開催している。令和 3 年度は新型コロナウイルス感染症の影響で式典は開催できなかったが、開催準備のため、新成人が成人式実行委員会を組織し、成人式の企画や新成人への情報提供を行った。こうした活動を通し、地域を支える人材の育成が図られた。

## 3 学校・家庭・地域の連携協働推進（10 款 5 項 1 目 社会教育総務事業費）

### (1) 新庄市放課後子ども教室

萩野地区公民館 5 月～2 月（毎週月曜日開催） 23 日間 参加者 萩野学園児童延べ 328 人

本合海小学校 5 月～2 月（月 2 回程度開催） 7 日間 参加者 本合海小児童延べ 87 人

### (2) 家庭教育の充実

- ・やまがた子育て講座（保護者等を対象とした講演会） 開催数：1 回 参加者：13 人
- ・幼児共育ふれあい広場（幼児・保護者等を対象にふれあい体験講座） 開催数：4 回（4 保育施設）  
参加者：215 人

### (3) コミュニティ・スクールの推進

- ・地域とともにある学校づくりを推進するため、明倫学園に学校運営協議会制度を導入した。  
萩野学園運営協議会 委員数 15 名 4 回開催  
明倫学園運営協議会 委員数 16 名 2 回開催
- ・令和 4 年度よりすべての新庄市立学校に学校運営協議会制度を導入するための準備を進め、市内全戸回覧によりコミュニティ・スクールについて周知を図った。
- ・地域学校協働活動について、市報での連載を通して市民に周知を図った。

<成果> 新型コロナウイルス感染症の影響により活動や事業を中止したこともあり実施回数や参加者は少なくなったが、小学生の放課後等の居場所を提供するとともに、家庭教育力向上のため学校や保育所などの希望に応じた講師を選定し、家庭教育について考える機会を提供することができた。また、明倫学園に市内で 2 校目となる学校運営協議会制度を導入し、その他の新庄市立学校でも導入準備を行ったことで、地域とともにある学校づくりを推進することができた。

#### 4 青少年健全育成事業（10 款 5 項 1 目 社会教育総務事業費）

##### (1) 高萩市・新庄市児童交流事業（新庄市青少年育成市民会議事業）

###### ①高萩ジャンボリー（新庄市の児童が茨城県高萩市を訪問）

新型コロナウイルス感染症予防の観点から事業を中止。

代替事業として新庄市立図書館で開催された図書館まつりにて新庄市内の児童に向けて高萩市児童交流事業を中心とした青少年育成推進委員会の活動を紹介するブースを設けた。

###### ②萩っ子歴史探険隊（高萩市の児童を新庄市へ受入れ）

新型コロナウイルス感染症予防の観点から事業を中止。

##### (2) 新庄市子ども芸術学校 4 部門各 6～30 回開催(延べ 68 回) 参加登録児童 64 人

##### (3) 青少年ボランティア体験

###### 登 録 者

高校生ボランティアサークル「しずく」44 人、登録制青少年ボランティア「しずく R」6 人

中学生ボランティア「しずく Jr」29 人、青年ボランティアサークル「oldrop」12 人

実 施 回 数 39 回

延べ参加人数 240 人

延べ活動時間 1,061.5 時間

<成果> 新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、高萩市との児童交流事業が中止となり、子ども芸術学校の開催数も減少したが、各種事業に協力いただいている青少年育成推進員・子ども芸術学校指導者・各種ボランティア受け入れ団体に感染症対策などの創意工夫を行っていただき、各種事業を開催した。コロナ禍においても活動ができたことにより、青少年健全育成の一助となり、指導者の地域住民と青少年との世代間交流の場をつくることができた。また、中学生ボランティアの登録者数が前年度の約 2 倍となり、さらには高校進学後もボランティアの参加意向を示していることから、継続した社会活動への参加意識を醸成することができた。

#### 5 男女共同参画社会推進事業（10 款 5 項 1 目 社会教育総務事業費）

- ・男女共同参画週間（6/23～6/29）とキャッチコピー、新庄市男女共同参画の概要について市報 6 月号で市民に周知した。
- ・幼少期から形成される性差への無意識の偏見、思い込みに気づいてもらうことを目的に、男女共同参画地域講座「これからの男の子たちへ、そして…—ジェンダー平等時代の子育て論」を開催した。  
期日 2 月 20 日（日） 場所 雪の里情報館 雪国文化ホール 参加者 60 人
- ・令和 4 年度に策定作業を行う第 2 次新庄市男女共同参画計画の基礎資料とするため、男女共同参画に関する意識調査を行った。

<成果> 多くの市民の意識向上を図ることで、新庄市男女共同参画計画を推進することができた。

#### 6 地域公民館整備助成事業（10 款 5 項 1 目 社会教育総務事業費）

市内の町内・集落等が社会教育活動を推進するため、地域公民館を新築・増築・改修、又は既設建物を取得もしくは敷地を購入するための補助を行った。

地域公民館整備助成件数 7 件 助成額 1,797,000 円

<成果> 地域活動の拠点となる公民館の新築、改築、敷地購入及び改修などへの補助を行うことにより、地域における活動を推進することができた。

## 7 指定管理者による生涯学習施設の管理運営

- ・指定管理者制度活用施設  
市民プラザ、市立図書館、市民文化会館、雪の里情報館、わくわく新庄
- ・上記のうち、利用料金制を導入している施設  
市民プラザ、市民文化会館、雪の里情報館、わくわく新庄

### ◆市民プラザ（10 款 5 項 2 目 市民プラザ管理事業費）

#### (1) 施設管理

##### ①指定管理者制度の活用

受託者 NPO法人芸術文化振興市民ネット新庄（令和3年4月1日～令和8年3月31日）  
指定管理料 40,919,000 円（利用料金制）

##### ②利用状況

- ・利用者数 50,576 人（前年度 46,557 人 4,109 人増）
- ・利用料金 6,725,940 円（前年度 5,702,070 円 1,023,870 円増）

##### ③施設整備

- ・修繕料 4,749,800 円  
変圧器交換修繕、隠ぺい型ファンコイル修繕、空調機械室冷温水配管保温材修繕 等
- ・工事請負費 23,798,500 円  
エレベーター改修工事

④生涯学習センター運営審議会の開催 5月28日(金) 会場 わくわく新庄 出席委員6人

#### (2) 各種事業の開催

##### ①指定管理者提案事業

虹の交流塾	5月15日(土)～ 11月6日(土)	参加者延べ363人
プラザ陶芸教室	5月30日(日)～ 12月12日(日)	参加者延べ157人
スマホ教室	6月18日(金)～ 1月28日(金)	参加者延べ111人
園芸講座	7月2日(金)、 11月5日(金)	参加者43人
夏休み！宿題ひろば	7月29日(木)～ 30日(金)	参加者延べ59人
料理教室	8月1日(日)～ 3月27日(日)	参加者延べ64人
外国人とのよりよいコミュニケーション講座	9月5日(日)～ 12月12日(日)	参加者延べ99人
キッズフェスタ	9月26日(日)	新型コロナウイルス感染症を考慮し中止
市民プラザ名画座	10月10日(日)	参加者延べ252人
キッズドリームワーク	12月19日(日)	参加者192人
がんばれ受験生！応援企画	2月2日(水)～ 9日(土)	参加者延べ24人

②市からの委託事業

日本語教室 初・中級コース	5月～11月	受講生 12人 延べ 167人
県美展・子ども県展 新庄巡回展	11月3日(水)～ 8日(月)	参加者数 2,093人

③継続事業

月釜	中止	新型コロナウイルス感染症の影響で中止
ふれあい市民ギャラリー	4月～3月	幼児から一般まで幅広い作品を展示 年 13回、9団体・2個人、約 1,900人
市民プラザまつり	発表：3月6日(日) 展示：3月2日(水) ～6日(日)	新型コロナウイルス感染症の急激な拡大状況を考慮し中止

(3) 市民活動交流ひろば事業

利用状況

- ・各種機器利用料金 868,220円 (前年度 706,480円 161,740円増)
- ・機器利用、相談等来室者数 1,336人 (前年度 1,126人 210人増)

◆図書館 (10款5項4目 図書館管理運営事業費)

(1) 施設管理

①指定管理者制度の活用

受託者 一般社団法人とらいあ (令和3年4月1日～令和8年3月31日)

指定管理料 45,879,000円

②利用状況

- ・来館者数 69,842人 (前年度 64,626人 5,216人増)
- ・貸出人数 22,499人 (うち児童 3,117人)  
(前年度 20,156人 2,343人増 うち児童 2,463人 654人増)
- ・貸出冊数 122,368冊 (うち児童書 59,894冊)  
(前年度 110,791冊 11,577冊増 うち児童書 52,143冊 7,751冊増)
- ・受入れ冊数 購入 1,914冊 (図書購入費 3,215,989円) 寄贈 823冊
- ・蔵書冊数 147,740冊  
(一般書 100,436冊、郷土資料 15,187冊、児童書 29,631冊、雑誌 2,486冊)

③施設整備

- ・修繕料 2,552,165円  
屋根修繕、非常用照明交換修繕 等

④図書館協議会の開催 5月20日(木) 出席委員 5人

## (2) 各種事業の開催

第 58 回 読書感想文コンクール (市委託事業)	対象：市内小・中・高校生及び一般 応募作品 104 点 12 月 4 日(土)表彰式
ブックスタート (市委託事業)	4 カ月健診で 2 冊の絵本をプレゼント。 対象者 174 組
ハローブック	2 歳児歯科検診時に読み聞かせと図書館の紹介と貸し出し。新型コロナ ウイルス感染症の状況により 4 月～8 月の 5 回実施。 参加者数 62 組
えほんぱーく	絵本の読み聞かせ 年 8 回 参加者 47 人 協力ボランティア 17 人
お話し会	新庄南高図書委員による読み聞かせ 1 回開催 参加者 7 人
あかちゃんタイム	毎週水曜日 9:30～12:00 乳幼児を連れて保護者が気兼ねなく図書館を利用できる日を設定 参加人数 858 人 (403 組)
公民館配本	選書、配本と図書の入れ替え (年 3 回) 貸出冊数 萩野地区公民館 261 冊、わくわく新庄 163 冊、 八向地区公民館 6 冊
移動図書館	移動図書館車にて、各施設での貸出返却を実施 保育所など (12 回) 6,027 冊 小・中学校 (27 回) 5,010 冊 神室荘 (12 回) 1,289 冊 学童保育所 (12 回) 1,031 冊 巡回配送 (11 回) 1,274 冊
出前図書館	わらすこ広場、保健センター、わくわく新庄、教育研究センター 5 回 120 冊貸出
学習資料相談会	小学生を対象とした夏休みの宿題・課題等の勉強相談会 7 月 30 日(土)～31 日(日) 参加児童 71 人 協力ボランティア 27 人
戦争と平和のおはなし	8 月 22 日(日) 参加者 6 人 協力者 3 人
図書館まつり	10 月 30 日(土)～31 日(日) 来館者 624 人
大人向け特別企画 「図書館の怪」	高校生以上を対象とした怖い話の朗読 12 月 18 日(土) 参加者 19 人 協力者 5 人
ライブラリーシアター	幼児・児童及びその保護者を対象とした DVD 上映会 12 月 25 日(土) 参加者 子ども 16 人、大人 12 人
施設連携事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雪の里情報館への貸出 9 回 362 冊</li> <li>・市民プラザ内図書館リサイクル本コーナー設置</li> <li>・萩野地区公民館との連携 理科読の実施 参加者 37 人</li> <li>・教育センターとの連携 出前図書館 参加者 57 人 貸出 116 人</li> <li>・図書館内に県立病院のコーナー設置</li> <li>・ゆめりあ 今村翔吾直木賞受賞国元企画展への協力 ちび鉄図書館の設置</li> </ul>

◆市民文化会館（10款5項5目 市民文化会館管理事業費）

(1) 施設管理

①指定管理者制度の活用

受託者 NPO法人芸術文化振興市民ネット新庄（令和2年4月1日～令和7年3月31日）  
 指定管理料 46,688,000円（利用料金制）

②利用状況

- ・利用者数 48,838人（前年度26,285人 22,553人増）
- ・利用料金 6,956,270円（前年度4,505,990円 2,450,280円増）

③施設整備

- ・修繕料 786,390円  
 消防設備修繕

④市民文化会館運営審議会の開催 5月24日(月) 出席委員4人

(2) 各種事業の開催

①指定管理者提案事業（自主事業企画委員会による事業の企画・実施）

田原俊彦全国ツアー2021 新庄公演	9月4日(土)	800人
TUY特選落語会 三遊亭好楽・三遊亭小遊三 二人会	9月12日(日)	500人
第48回山形県高校演劇合同発表会	10月30日(土)～31日(日)	150人
宝くじまちの音楽会 岩崎宏美 with 宗次郎 ～心のふるさとを求め～	11月20日(土)	1,000人

②市からの委託事業

小中学校演劇鑑賞教室	6月3日(木)、 7月7日(水)～9日(金)	3,200人
------------	---------------------------	--------

③継続事業

サマーミニコンサート	8月7日(土)	100人
第27回市民演劇祭	11月13日(土)～14日(日)	380人
第57回新庄市芸術祭	9月～12月	3,300人
第45回最上地区吹奏楽祭	10月9日(土)	450人
第59回市民音楽祭	中止	—

◆雪の里情報館（10款5項9目 雪の里情報館管理事業費）

(1) 施設管理

①指定管理者制度の活用

受託者 一般社団法人とらいあ（令和2年4月1日～令和7年3月31日）  
 指定管理料 18,563,000円（利用料金制）

②利用状況

- ・利用者数 10,666人（前年度10,556人 110人増）
- ・利用料金 823,750円（前年度654,820円 168,930円増）

③施設整備

- ・修繕料 1,025,200円  
 冷温水発生機部品交換修繕、外灯修繕

④雪の里情報館運営協議会の開催 5月25日(火) 出席委員5人

(2) 各種事業の開催

- ①第11回雪ん子俳句展（市委託事業） 応募総数 426 点（最上管内小学校 18 校）
- ②夏のゆきんこクラブ 8月6日(金) 参加者 21 人
- ③冬のゆきんこクラブ 1月22日(土) 参加者 13 人
- ④雪の里まつり 2月6日(日)～13日(日)  
動画作成（2 団体）、作品展示（4 団体）
- ⑤魔除けのしめ飾りを創ろう 12月18日(土) 参加者 19 人
- ⑥ゆきさとオーガニックマルシェ 7月25日(日) 参加者 259 人、11月7日(日) 参加者 236 人
- ⑦雪国ギャラリーの作品展示及び特別企画展

◆わくわく新庄（10 款 5 項 10 目 わくわく新庄運営事業費）

(1) 施設管理

①指定管理者制度の活用

受託者 株式会社東北情報センター（平成 29 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日）

指定管理料 18,918,000 円（利用料金制）

②利用状況

- ・利用者数 36,416 人（前年度 32,682 人 3,734 人増）
- ・利用料金 3,506,700 円（前年度 3,128,930 円 377,770 円増）

③施設整備

- ・修繕料 329,670 円（排煙窓修繕、外灯修繕、等）

④生涯学習センター運営審議会の開催 5月28日(金) 会場 わくわく新庄 出席委員 6 人

(2) 各種事業の開催

①自主事業

わくわく新庄デジカメ写真教室	5月29日(土)～9月11日(土)	延べ 86 人
わくわくギャラリー作品展	7月3日(土)～10月9日(土)	—
夏休み子ども学習会	7月28日(水)～29日(木)	25 人
第 23 回わくわく新庄フェスティバル	9月4日(土)～5日(日)	中止
七所明神巡り	10月8日(金)	21 人
子ども藍染め体験教室	10月10日(土)	中止
第 22 回 わくわく新庄ラージボール卓球大会	10月24日(日)	中止
新庄まつりミニ山車展示	10月24日(日)～11月6日(土)	—
運動で健康づくり	11月12日(金)	15 人
春のプラネタリウム	3月25日(金)	中止

②共催事業

囲碁教室	4月14日(水)～3月9日(水)	560 人
第 39 回金沢町おさいど雪祭り大会	1月29日(土)	約 400 人

<成果> 生涯学習施設 8 施設中 5 施設について指定管理者制度を導入している。指定管理者による各種事業の実施により、多くの市民に生涯学習の機会を提供することができた。また、指定管理者による適正な施設管理と、利用者の安全を第一に計画的な修繕により、より良い環境の下での生涯学習の場を提供することができた。

## 8 地区公民館（10 款 5 項 3 目 地区公民館運営事業費）

### (1) 施設管理

#### ①利用者数

- ・萩野地区公民館 3,853 人（前年度 3,003 人 850 人増）
- ・八向地区公民館 1,778 人（前年度 1,352 人 426 人増）

#### ②使用料

- ・萩野地区公民館 121,890 円（前年度 121,590 円 300 円増）
- ・八向地区公民館 36,780 円（前年度 34,010 円 2,770 円増）

#### ③施設整備

- ・修繕料 1,265,330 円  
萩野地区公民館 空調設備修繕、ガス漏れ修繕 等  
八向地区公民館 ガス漏れ修繕

#### ④公民館運営審議会の開催

- ・萩野地区公民館 5 月 21 日(金) 出席委員 6 人
- ・八向地区公民館 5 月 26 日(水) 出席委員 6 人、 2 月 15 日(火) 出席委員 5 人

### (2) 各種事業の開催

#### ①萩野地区公民館

- ・萩野地区公民館まつり 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止
- ・高齢者を対象とした事業  
萩野地区きららクラブ交流会 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業はすべて中止  
骨々肘筋体操教室 月 2 回火曜日 計 14 回 参加者延べ 155 人
- ・成人を対象とした事業  
太極拳教室 毎週木曜日 計 8 回 参加者延べ 83 人  
初心者料理教室 毎月第 2 水曜日 計 8 回 参加者延べ 58 人  
ヨガ教室 毎週木曜日 計 10 回 参加者延べ 136 人  
実用書講座 毎月第 3 水曜日 計 11 回 参加者延べ 49 人  
スポーツ吹き矢教室 11 月～12 月 計 8 回 参加者延べ 61 人  
明治安田生命共催講座 1 月 27 日(木) 1 回 参加者数 4 人
- ・放課後子ども教室（萩野学園）5 月～2 月 原則毎週月曜日 23 回開催 参加者延べ 328 人
- ・萩野学園読み聞かせサークル「七色の風」 朝読書の時間に絵本の読み聞かせや昔話  
9 月～2 月 1～4 年生…月 2 回、5～9 年生…月 1 回 計 7 回
- ・萩野地区ニュースの発行 9 月及び 12 月 萩野地区に全戸配布

#### ②八向地区公民館

- ・八向地区公民館まつり 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止
- ・放課後子ども教室 5 月～2 月 月 1～2 回 7 回開催 参加者延べ 87 人
- ・スマホ教室 7 月 6 日(火) 参加者数 10 人
- ・正月生け花教室 12 月 28 日(火) 参加者数 6 人
- ・グランドゴルフ教室 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止

<成果> 地区公民館の事業によって、子どもから高齢者までの地域住民が幅広い活動をすることができ、世代間交流にもつなげることができた。

## 9 ふるさと歴史センター

(10款5項8目 ふるさと歴史センター管理事業費、ふるさと歴史センター事業費)

### (1) 施設管理

#### ①利用状況

- ・観覧者数 5,578人(前年度5,225人 353人増)  
※内無料観覧者 2,246人(前年度2,009人 237人増)
- ・使用料 955,300円(前年度929,250円 26,050円増)

#### ②施設整備

- ・修繕料 1,346,972円(防火シャッター修繕、施設名建植サイン修繕、入口階段手摺笠木修繕等)
- ・工事請負費 37,197,600円(空調設備改修工事)

#### ③収蔵資料現況

考古資料(12,003点) / 民俗資料(12,004点) / 歴史資料・古文書(71,602点) /  
書籍(9,968点) / その他の資料(絵画・写真等)(1,693点)  
計107,270点(3年度は資料整理及び寄贈により、収蔵品数2,114点増)

#### ④ふるさと歴史センター運営協議会の開催 5月11日(火) 出席委員9人

### (2) 各種事業の開催

#### ①新庄まつり最優秀山車2台の展示

- ・歌舞伎部門「義経千本桜(千門町若連)」
- ・物語部門「浦島太郎(下金澤町若連)」

#### ②新庄まつり山車行事顔見世興行(大パネル3200mm×800mmの設置)

新型コロナウイルス感染症予防に伴い参加山車が少なかったため未実施

#### ③企画展示 年11回開催

#### ④新庄藩校「明倫堂」講座 年4回 受講登録者54人

#### ⑤第35回みちのく民話まつり

- ・「夏語り」 8月7日(土) 参加者28人
- ・「秋語り」 10月16日(土) 参加者39人

#### ⑥伝統芸能育成事業・ふるさと塾(昔語りこども塾)

本合海・升形小学校・明倫学園で事業展開。対象児童 小学1～6年生

発表会 第16回新庄こども語りまつり 2月20日(日) 語り手児童18人参加予定

新型コロナウイルス感染症予防に伴い中止

#### ⑦語りの部屋 毎週日曜日(コロナ禍により12月～3月休止。例年、12月・1月休止)

開催日数33日 語り手延べ33人 聞き手数90人

#### ⑧新庄開府400年記念事業

- ・実行委員会設立総会 11月10日(火) 出席委員18人
- ・キャッチフレーズの制定 市内小中学生・高校生を対象に募集  
最優秀賞1点、優秀賞3点(応募作品58点)  
キャッチフレーズ「受けつぐ想いが、未来をつくる。」(最優秀賞)
- ・ロゴマークの制定 市内のデザイン関係事業者、新庄最上出身のデザイン学校学生を対象に募集  
優秀賞1点(応募作品14点)

<成果> 新型コロナウイルス感染症予防に伴う事業の中止や内容の変更がありながらも、常設展・企画展などを通して新庄の風習やまつり、文化・芸術の特色を紹介できた。また、歴史講座「新庄藩校・明倫堂」を開催したほか、令和7年の新庄開府400年記念事業の実施について、推進体制の整備と広報周知の体制整備を図ることで、市民の郷土史理解への促進につながった。

## 10 文化財保護（10款5項6目 文化財保護管理事業費）

### (1) 国・県指定文化財巡回指導

国指定（登録）及び県指定文化財を山形県文化財保護指導委員とともに巡回 年7回実施

### (2) 保存整備

#### ①「史跡新庄藩主戸沢家墓所保存活用計画」に基づく整備

史跡新庄藩主戸沢家墓所1号棟保存修理工事

工事請負費 20,819,700円

#### ②旧農林省積雪地方農村経済調査所保存活用事業

保存活用計画の策定（令和4年度）のため、実測図面の作成及び精密耐震診断を実施

委託料 2,800,600円

### (3) 維持管理

#### ①名勝おくのほそ道の風景地本合海の維持管理と地域の活性化の推進

・本合海協議会 総会 5月（書面会議）

・八向楯跡登山道等の環境整備 6月20日（日） 参加者 構成団体会員11名

9月19日（日） 参加者 構成団体会員11名

#### ②地域団体との協定に基づく市指定史跡の適正な維持管理

・角沢街道の丸仏 管理団体：史跡、丸仏を守る会

・柳の清水及び句碑 管理団体：金沢新町町内会

### (4) 新庄市指定文化財の指定

①文化財保護審議会 6月23日（水）、1月26日（水）、3月15日（火） 3回開催

②指定日 令和4年3月29日

#### ③新規指定文化財（8件）

・長泉寺観音堂（有形文化財・建造物）／所有：長泉寺

・熊野神社本殿拝殿（有形文化財・建造物）／所有：飛田地区連合会

・熊野神社境内社八幡神社（有形文化財・建造物）／所有：飛田地区連合会

・円満寺山門（有形文化財・建造物）／所有：円満寺

・円満寺雷神堂（有形文化財・建造物）／所有：円満寺

・北条六右衛門肖像（有形文化財・歴史資料）／所有：個人

・サンゲサンゲ（民俗文化財・無形民俗文化財）／所有：本合海地区（榮光院）、北町（秋葉講）

<成果> 文化財の適正な保護・管理を行うことで、文化財を地域の宝として次代へ引き継ぐことができた。

## 11 重文旧矢作家住宅管理 (10 款 5 項 7 目 重文旧矢作家住宅管理事業費)

- (1) 重要文化財 旧矢作家住宅の適正管理及び公開・活用 (4 月～11 月)  
一般公開入場者 362 人 (県外 155 人、県内 207 人)、(前年度 337 人 25 人増)
- (2) 管理委員会の開催  
第 1 回 5 月 7 日(金) 出席委員 7 人、第 2 回 11 月 22 日(月) 出席委員 4 人
- (3) 保存整備  
・重要文化財旧矢作家住宅耐震診断業務委託料 6,900,300 円

<成果> 新型コロナウイルス感染症予防に伴う閉館期間はありながらも、日常的な管理はもとより、国の重要文化財の適正な保護について取り組みを進めることができた。

## 12 次世代育成の取組 (10 款 5 項 11 目 社会体育総務事業費)

運動の基礎である陸上を通して次世代を担う小・中学生の体力向上を目指し、小・中学生への陸上指導を行った。その成果を図るための各種大会は新型コロナウイルス感染症の影響を受け中止となった。

- (1) 長距離走の指導 6 小・中・義務教育学校 46 回
- (2) 第 23 回 山形県ジュニア駅伝競走大会  
オリンピック開催予定であったため中止

<成果> コロナ禍により大会等が中止となったため、数値では表せないが、指導育成により県縦断駅伝選手候補の中・高生のレベルアップにつながった。

## 13 競技スポーツの推進 (10 款 5 項 11 目 社会体育総務事業費)

- (1) 一般財団法人新庄市体育協会補助事業  
一般財団法人新庄市体育協会の事業運営に対し補助をおこなった。 補助金 10,900,000 円
- (2) 新庄市総合体育大会  
一般財団法人新庄市体育協会へ事業の開催を委託した (11 種目)。 委託料 915,000 円  
会期 8 月～12 月 参加者 選手 869 人
- (3) 新庄市体育表彰

スポーツの振興に顕著な功績があった者及び各種競技大会において優秀な成績を収めた者に対して表彰をおこなった。

＝ 新庄市表彰 ＝

・あじさい表彰	該当なし	
・感謝状	該当なし	
・奨励賞	個人 56 人	団体 7 団体
計	個人 56 人	団体 7 団体

＝ 新庄市体育協会表彰 ＝

・体育協会特別表彰	該当なし	
・スポーツ振興功労賞	個人 2 人	
・優秀指導者賞	該当なし	
・殊勲賞	個人 45 人	団体 7 団体
・飛翔賞	個人 20 人	団体 1 団体
計	個人 67 人	団体 8 団体

#### (4) 新庄市運動競技大会出場選手奨励事業

全国大会に出場した選手、監督またはコーチ等に奨励金を支給した。

・奨励金支給実績 個人 36人 奨励金 360,000円

<成果> 市のスポーツ振興の一翼を担う新庄市体育協会への活動助成等を行うことにより、スポーツ振興におけるソフト面を充実することができた。また、山形県大会以上の大会で優秀な成績を収めた選手及び指導者を広く顕彰し、全国大会の出場者に奨励金を交付することにより、競技者の意欲向上、さらには競技力の向上につながった。

### 14 各種スポーツ大会の開催 (10款5項11目 社会体育総務事業費)

市民の競技力向上や体力づくり・仲間づくりを目的とし、関係団体と連携してスポーツ大会を開催した。

#### (1) 第43回 新庄市総合体育大会

主催 新庄市総合体育大会実行委員会 (事務局: 新庄市体育協会 委託事業)

期日 8月8日(日)~12月12日(日)

会場 市体育館、市民球場、市武道館、福田運動公園、市民スキー場、八向サッカー場、日新小体育館、萩野学園体育館

参加者 11種目 869人 (バレーボール、野球、柔道、ソフトテニス、弓道、バドミントン、剣道、空手道、合気道、卓球、スキー)

※上記のほか4種目の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

#### (2) 第29回 新庄市スポーツ・レクリエーション祭

主催 新庄市・新庄市教育委員会・新庄市レクリエーション協会

※8種目の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

#### (3) 第4回 新庄いものこハーフマラソン大会

主催 新庄ハーフマラソン大会実行委員会

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した

<成果> 新型コロナウイルス感染症の拡大状況に対応し、実施できなかった大会等もあったが、市民に身体を動かす機会と日ごろの練習の成果を発表する場を提供することができた。

### 15 駅伝強化対策事業 (10款5項11目 社会体育総務事業費)

山形県駅伝競走大会「新庄・最上チーム」の実行委員会事務局として、第10期強化対策事業(令和4年度まで)として強化選手2名を配置し、チームの競技力向上を図った。

強化選手 清水 涼雅 (新庄市教育委員会)、上石 敦士 (最上町教育委員会)

#### (1) 第65回 山形県縦断駅伝競走大会

主催 山形陸協・山形県体協・山形県教委・山新・13市・13市教委

期日 4月27日(火)~29日(木) 成績 新庄・最上チーム 総合第9位

#### (2) 第37回 山形県女子駅伝競走大会

主催 山形県陸協・山新

期日 11月21日(日) 成績 新庄・最上チーム 総合第8位

(3) 第 63 回 山新杯ペーダー駅伝競走大会

主催 米沢市陸協・米沢市教委・山新

期日 11 月 14 日 (日) 成績 新庄・最上チーム (A) 第 5 位、(B) 第 11 位

<成果> 山形県縦断駅伝競走大会は前回の最下位より順位を二つ上げ総合 9 位となった。また山形県女子駅伝競走大会も前回の最下位より順位を三つ上げ総合 8 位となった。まだコロナ禍により各種大会の中止が相次いでいたが、男女チームとも、積極的な練習を行い、特に男子チームは強化選手と一緒に練習を行うことにより、練習記録の向上につながった。

16 ホストタウン推進事業 (10 款 5 項 11 目 社会体育総務事業費)

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に伴い、台湾との人的、経済的、文化的な相互交流を図るホストタウン事業を推進させるため、令和元年度にホストタウン推進事業実行委員会を設立した。東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催が、新型コロナウイルス感染症の影響により令和 2 年から令和 3 年に延期され、また、外国と交流は制限されていたため、令和 3 年度は以下の取り組みを行った。

【主な取り組み】

8 月 2020 東京オリンピック 台湾選手活躍のお祝い文の送付

10 月 台北駐日経済文化代表処を表敬訪問 (1 人) マスク寄贈に係る感謝状の贈呈

<成果> 参加国との人的・経済的・文化的な相互交流を図るための素地づくりにつながった。

17 体育施設の管理運営 (10 款 5 項 12 目 体育施設の管理運営事業費)

(1) 指定管理者制度の活用

① 体育館外 8 施設

受託者 一般財団法人新庄市体育協会 (令和 3 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日)

指定管理料 72,354,000 円 (利用料金制)

② 市民スキー場

受託者 一般財団法人新庄市体育協会 (令和 3 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日)

指定管理料 30,960,000 円 (利用料金制)

(2) 体育施設巡回点検 定期巡回及び緊急点検の実施

(3) 体育施設の維持管理 (修繕等の状況)

① 修繕料

施設名	修繕名	金額 (円)
体育館	音響装置修繕	365,200
	非常階段踊場修繕	200,200
	水道メーター交換修繕	198,000
	受電用高圧ケーブル端末修繕	315,700
武道館	弓道場シャッター修繕	810,150
市民球場	トラクター修繕	186,384
	ライト側ゲート修繕	151,800
	スタンド入口笠木修繕	231,000

	室内練習場防球フェンス修繕	2,541,000
	トレーニングルームエアコン修繕	1,650,000
	トレーニングルーム天井裏修繕	1,969,000
	消防用設備修繕	89,100
	消防用設備（複合防災盤）更新修繕	1,879,900
福田運動広場	水道メーター交換修繕	77,000
	不凍栓交換修繕	198,000
陸上競技場	場超音波風速計修繕	143,000
	スタンド外壁修繕	2,398,000
	前防犯灯交換修繕	64,900
市民プール	プールサイド塗裝修繕	869,000
	スライダー塗裝修繕	2,255,000
市テニスコート	照明不点修繕	99,000
計	21件	16,691,334

②工事請負費 18,791,300円

- ・体育館進入路融雪システム更新工事 8,360,000円
- ・陸上競技場公認更新工事 10,431,300円

#### (4) 体育施設の利用状況

##### ①利用者数

(単位：人)

施設名	団 体				個 人		利用者 数合計	前年度 (増減)
	団体数	前年度 (増減)	人数	前年度 (増減)	人数	前年度 (増減)		
体育館	1,761	1,596 (165)	27,770	24,493 (3,277)	1,008	890 (118)	28,778	25,383 (3,395)
武道館	1,059	926 (133)	10,657	9,476 (1,181)			10,657	9,476 (1,181)
市民球場	1,717	1,987 (△270)	27,717	19,086 (8,631)			27,717	19,086 (8,631)
福田 運動広場	99	94 (5)	1,983	1,674 (309)			1,983	1,674 (309)
福田テニ スコート	0	1 (△1)	0	5 (△5)	67	34 (33)	67	39 (28)
横根山 運動広場	25	10 (15)	529	235 (294)			529	235 (294)
陸上競技 場	1,225	843 (382)	14,869	9,216 (5,653)	128	248 (△120)	14,997	9,464 (5,533)
市テニス スコート	1,264	975 (289)	13,771	9,884 (3,887)	1,102	974 (128)	14,873	10,858 (4,015)
市民 プール	5	0 (5)	58	0 (58)	2,781	0 (2,781)	2,839	0 (2,839)
市民 スキー場					11,543	9,868 (1,675)	11,543	9,868 (1,675)
計	7,155	6,432 (723)	97,354	74,069 (23,285)	16,629	12,014 (4,615)	113,983	86,083 (27,900)

## ②利用料金

(単位：円)

施設名	利用料金	前年度	増減
体育館	1,139,460	1,062,020	77,440
武道館	697,245	659,435	37,810
市民球場	1,172,920	1,280,850	△107,930
福田運動広場	33,360	55,790	△22,430
福田テニスコート	5,200	4,900	300
横根山運動広場	3,000	0	3,000
陸上競技場	253,725	207,935	45,790
市テニスコート	1,068,930	766,510	302,420
市民プール	148,320	0	148,320
市民スキー場	4,452,150	3,879,200	572,950
計	8,974,310	7,916,640	1,057,670

<成果> 日々の管理・運營業務における調整や指定管理者連絡会議等を通し、指定管理者との情報共有や連携を深め、また、老朽化した施設については、計画的・効果的、かつ緊急時には柔軟に修繕等を実施したことで施設の安全性・利便性・快適性及び危機管理の向上につなげることができた。

## 18 山屋セミナーハウス (10 款 5 項 13 目 山屋セミナーハウス管理運営事業費)

## (1) 施設管理

## ①利用状況

- ・利用者数 6,073 人 (前年度 8,834 人 △2,761 人減)
- ・使用料 473,340 円 (前年度 702,490 円 229,150 円減)

※6 月から 9 月まで新型コロナウイルスワクチン集団接種会場として使用したため、利用者数・使用料が減少した。

## ②施設整備

- ・修繕料 692,468 円  
交流サロンエアコン交換修繕、トイレ壁タイル修繕 等

<成果> 屋内運動場と宿泊機能を兼ね備えた体育施設として、スポーツ少年団の活動や部活動、サークル活動など、スポーツ活動や文化活動の場を提供することができた。